

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------------------------------|---------------|---|--|---|
| 家計 動向 関連 (北海道) | 良く なっている | 観光型ホテル (スタッフ) | 来客数の動き | ・国内旅行者、ビジネス客、外国人観光客ともに好調である。Web予約の客も効率良く取り込めている。 |
| | | 観光名所(従業員) | 来客数の動き | ・2月25日現在の利用乗降客数が前年比約125%と大きく伸びている。過去3か月をみても、こうした伸び率が継続している。 |
| | やや良く なっている | 商店街(代表者) | 来客数の動き | ・中国を始めとしたアジア地域からの観光客により、限定的ではあるが、コンビニエンスストアやドラッグストアなどではプラス効果が表れている。 |
| | | スーパー(役員) | お客様の様子 | ・北海道新幹線と関連したイベントや報道が増えており、街が活気付いてきている。 |
| | | コンビニ(店長) | 来客数の動き | ・2月の売上は前年比105%となっている。特にテレビ番組で紹介されたことでポテトサラダ、めかぶやレンコンの入ったサラダが売上を押し上げている。 |
| | | 乗用車販売店(従業員) | 販売量の動き | ・北海道の場合、春先需要があるため、3か月前と比べると販売量が伸びている。 |
| | | その他専門店 [医薬品](経営者) | 販売量の動き | ・ダイレクトメールや講演の効果が出てきたのか、徐々に店内が活気付いてきており、販売量も上向いている。 |
| | | その他専門店 [ガソリンスタンド](経営者) | 販売量の動き | ・石油製品価格が低価格で安定しているため、販売量が好調である。 |
| | | 旅行代理店(従業員) | 来客数の動き | ・今年は天候が安定しており、荒天による航空機の欠航便数が前年と比べて相当減っている。また、流氷の接岸こそ遅かったものの、冬季の体験型観光が浸透していることで観光客数は増加傾向にある。 |
| | | タクシー運転手 | 販売量の動き | ・2月は雪が多かったため、売上は3か月前と比べて約3%増えた。前年と比べても約7%増加していることから、やや良くなっている。 |
| タクシー運転手 | 販売量の動き | ・冬季ということもあり、タクシー1台当たりの売上がやや増加している。 | | |
| その他サービスの動向を把握できる者 [フェリー](従業員) | 来客数の動き | ・観光需要も含め閑散期となっているが、天候が思いのほか良かったこともあり、少数ではあるが観光客の利用がみられる。 | | |
| 変わらない | 商店街(代表者) | お客様の様子 | ・客は話では大変だと言っているが、話だけで景気にはあまり影響が出ていないような雰囲気がある。 | |
| | 商店街(代表者) | 販売量の動き | ・プレミアム付商品券の利用期間も終わったこともあり、業績は前年並みかやや減少している。ただ、今年は積雪が少なく、天候も比較的落ち着いているにもかかわらず、業績が伸びてこないことが不思議だ。 | |
| | 百貨店(売場主任) | お客様の様子 | ・2月に入って物産催事及びバレンタインデー、ホワイトデー関連の売上が前年実績を上回っているほか、閉店を控えたブランドの売上が前年実績の2倍となっている。その一方で、セールに関してはコートや防寒衣料の売上が前年の8割台にとどまっている。また、春物に関しては、前年実績は上回っているものの、販売量はそれほど多くない。これらのことから客の財布のひもが固い状況にある。 | |
| | 百貨店(担当者) | 来客数の動き | ・以前と比べて、特段の変化がみられない。 | |
| | スーパー(企画担当) | 単価の動き | ・前年の消費税増税以降、加工食品を中心にかなりの値上げ感が否めず、消費の足を引っ張っている。 | |
| | スーパー(企画担当) | 販売量の動き | ・販売量の伸び悩みが相変わらず続いており、客の消費行動も慎重さという面で従来からの変化はみられない。 | |
| | スーパー(役員) | 来客数の動き | ・灯油やガソリンなどの価格低下により家計の負担は少なくなっているはずだが、異常なほど節約志向が高まっている。相変わらず商品単価が前年比で3~4%上昇し、客1人当たりの平均買上点数も増加傾向にあるものの、2月に入ってからの降雪量が増えたこともあり、来客数がここ数か月の平均を下回っている。 | |
| コンビニ(エリア担当) | 単価の動き | ・生鮮食品の売上は維持できているが、たばこやアルコールの売上の減少が継続している。また、年金支給日や給料日などの売上がこれまでのように確保できていないことから、客の節約志向が進んでいることがうかがえる。 | | |

| | | | |
|---------------|----------------|---|--|
| コンビニ（エリア担当） | 来客数の動き | ・来客数の回復が遅れている。前年は大雪の影響で比較的近くのコンビニエンスストアを利用する機会が増えていたが、今年は雪が少ないため、週末にスーパーを利用する機会が増えているようだ。また、漁業の不漁も続いており、沿岸部の店舗では売上の減少幅が大きい。 | |
| コンビニ（エリア担当） | 単価の動き | ・客単価が上昇していることで店舗の売上は増えているが、来客数が回復してこない。 | |
| 自動車備品販売店（店長） | 来客数の動き | ・来客数が前年比80%となっており、なかでも車検入庫の利用客が前年比75%と少なくなっている。米国の大手金融機関の破たんや東日本大震災の影響による落ち込みで、車両保有台数が横ばいで推移していることも影響している。 | |
| 高級レストラン（経営者） | お客様の様子 | ・ガソリン価格や灯油価格が下がってきていることは市民にとって良いことではあるが、円高や株価の乱高下などの経済の不安定さが客の財布のひもを固くする一方である。景気が上向くような好材料が見当たらない。 | |
| 高級レストラン（スタッフ） | 販売量の動き | ・客単価が低下しているものの、比較的、温暖な日が多かったことで来客数が前年並みで推移したため、売上は前年並みに落ち着いた。2月に入り、普段は提供していない欧州の人気メニューを提供したが、高単価にもかかわらず思いのほか好評で注文も多かった。一方、客がメニューを選ぶ際、高単価のコース料理ではなく、穀物系の主食料理を1人1点ずつ単品で注文することが多いため、客単価が上がってこない面もある。 | |
| 旅行代理店（従業員） | お客様の様子 | ・海外旅行先としての危険度が増している地域が増えているため、旅行を控えようという雰囲気がある。 | |
| タクシー運転手 | 来客数の動き | ・2月はさっぽろ雪まつりなどの大きなイベントがあったため、海外からの観光客などが多かったが、タクシーの利用は前年並みであった。 | |
| タクシー運転手 | 来客数の動き | ・2月はさっぽろ雪まつりや旧正月の期間にある程度の売上の伸びがみられたものの、全体的な売上は前年とほとんど変わらなかった。 | |
| 美容室（経営者） | 販売量の動き | ・2月の売上は前年よりは増えているが、3か月前とほとんど変わりがなかった。 | |
| 住宅販売会社（役員） | お客様の様子 | ・マイナス金利の導入に加えて、来年からの消費税増税が予想されることで、分譲マンションのモデルルームへの来客数は増加しているが、予算が限られている客が多い。 | |
| やや悪くなっている | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・雪の日が多かったせいか、来客数が前年と比べて5%程度減っている。 |
| | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・2月初旬に行われた氷まつりの際は、当地域においても若干の来街者の増加がみられたが、氷まつり終了後は、バスの乗降客数や周辺の駐車場の空き状況のみを限り、地元客の来街も少ない状況にある。また、アジア圏からの外国人観光客が買物袋を携行している姿もまばらであることから、ほとんどの業種で売上が減少したとみられる。 |
| | 一般小売店〔土産〕（経営者） | お客様の様子 | ・2月はさっぽろ雪まつりや小樽雪あかりの路といったイベントがあったものの、売上は前年比99%とほぼ前年並みであった。 |
| | 一般小売店〔酒〕（経営者） | 販売量の動き | ・このところ数か月続いていた景気の良さにプレーキがかかっている。飲食業界にも人手不足が深刻な影響を落とし始めてきており、経営者が大変困っている状況にあることが、当店の売上にも響いてきている。 |
| | 百貨店（売場主任） | お客様の様子 | ・外国人観光客による売上は前年比105%と増加したが、地元客による売上が大幅にダウンし、全体としても前年割れの月となった。気温が平年より高めに推移したことで、春物衣料の動きに期待したが、突然の大雪で来客数が減少したこともあり、定価品の売上は前年比98%と苦戦した。一方、イベント系の大型催事は好調に推移した。 |
| | 百貨店（販売促進担当） | 来客数の動き | ・春節やさっぽろ雪まつりが終わって以降、来客数の落ち込みに歯止めがかからない状態が続いている。外国人観光客の客単価や販売量も前年とは比べものにならないほど落ち込んでいる。 |

| | | | | |
|-----------------------------|---------------|---------------------------|------------|---|
| | | 百貨店（役員） | お客様の様子 | ・買物客の客単価が上がらず、来客数も減っている。株価が思ったように上がってこないことに加えて、地方においては賃金も上がる様子がみられないことから厳しい状況にある。 |
| | | スーパー（店長） | 販売量の動き | ・うるう年のため、営業日数が1日多かったが、最終日は悪天候の影響であまり上乘せができず、売上も販売量も前年から4%強の減少となった。こうした傾向は3か月前からずっと続いている。 |
| | | スーパー（店長） | 来客数の動き | ・前月と比べると、来客数の落ち込みが大きくなってきている。 |
| | | 衣料品専門店（店長） | 販売量の動き | ・例年であれば、この時期はスーツの売行きが良くなる時期であるが、今年は販売量が前年比85%と非常に厳しい状況となっている。 |
| | | 衣料品専門店（店員） | 来客数の動き | ・2月半ばから来客数が急に少なくなった。 |
| | | 家電量販店（店員） | 来客数の動き | ・年末年始の反動なのか、2月は来客数が前年を下回っており、売上も伸びていない状況にある。 |
| | | 乗用車販売店（従業員） | 販売量の動き | ・新規案件の話がなかなか出てこない状況にある。 |
| | | 乗用車販売店（従業員） | お客様の様子 | ・新車は前年並みで推移しているが、中古車の動きが悪い。前年は買回り客の来店も多かったが、今年は減少している。 |
| | | 高級レストラン（スタッフ） | 単価の動き | ・春節が終わってから外国人観光客が減っている。営業日数の減少や悪天候の影響もあり、売上は前年から7%の減少とかなり数字を落とした。 |
| | | 高級レストラン（スタッフ） | お客様の様子 | ・来年の消費税増税に対する不安に加えて、賃金の上昇が進まないこともあり、3か月前と比べるとやや悪くなっている。求人への応募も減少している。 |
| | | 観光型ホテル（役員） | 来客数の動き | ・航空路線が新千歳空港に集中していることもあり、外国人観光客の団体も国内客も札幌周辺に集中しており、地方は客足が遠のき始めている。 |
| | | 通信会社（社員） | 販売量の動き | ・客の購買意欲は相変わらず低迷している。特に2月は年度替わりを前にして、消費が控え気味になる傾向がある。 |
| | | 通信会社（企画担当） | 来客数の動き | ・総務省のタスクフォースの影響で客へのキャッシュバックが終了したことで、携帯端末を求める客の数が激減している。春商戦にもかかわらず、札幌都市部の繁忙店ですら店舗が閑散としてしまっている。 |
| | | 美容室（経営者） | 販売量の動き | ・技術料金の売上はまずまずだが関連商材の売上が前年と比べて10%程度落ち込んでいる。関連商材の売上が悪くなるのは消費者が出費を控える兆しでもある。 |
| | | 住宅販売会社（経営者） | お客様の様子 | ・1～2月にかけて株式市場が不安定なため、客も不安定な気持ちで一杯であり、消費に意識が向かいづらい状況にある。 |
| | 悪く なっている | 百貨店（販売促進担当） | 来客数の動き | ・来客数が回復してこないため、悪化傾向に拍車がかかっている。また、来客数に対する購買率も悪化傾向が継続している。客単価は好調を維持しているものの、来客数や購買率の悪化を補うところまでは至っていない。 |
| | | タクシー運転手 | 販売量の動き | ・前年との比較で微増又は微減で推移していた売上が一気に3%の減少となった。天候要因以外の下げ圧力が感じられる。 |
| | | タクシー運転手 | 販売量の動き | ・市内需要が前年から10%程度落ちている。それに加えて社員数の減少も響いている。 |
| 企業 動向 関連 (北海道) | 良く なっている | — | — | — |
| | やや良く なっている | 建設業（従業員） | 取引先の様子 | ・金融政策の影響なのか、札幌市中心部を始めてとして道内各地で建物建替計画の立案や引き合い件数が増加している。 |
| | | その他非製造業 [鋼材卸売] (役員) | 受注量や販売量の動き | ・消耗品の売上はほぼ横ばいであったが、設備案件が発生したため、3か月前に比べると売上は約30%増加した。 |
| | 変わらない | 出版・印刷・同 関連産業（従業員） | 受注量や販売量の動き | ・良くなる要素が見当たらない。 |
| | | 建設業（従業員） | 受注量や販売量の動き | ・グループ会社も含めて民間建築工事を中心に受注量が引き続き確保できており、景況に大きな変化はみられない。 |

| | | | | |
|-----------|--------------------------|----------------|--|---|
| | 輸送業（営業担当） | 取引先の様子 | ・新規輸送案件は出てきていないが、前年の農産物が豊作であったため、ビート糖、でん粉などの輸送が順調に推移している。また、燃料価格が安値で安定していることも、収益面では非常に助かっている。 | |
| | 金融業（従業員） | それ以外 | ・北海道新幹線の開業、外国人観光客による入込の増加、灯油価格やガソリン価格の低下などのプラス要因がある。一方、マイナス金利が金融市場の波乱を招き、先行き不透明感が増していることで、個人消費や設備投資などに慎重姿勢が広がっており、景気回復を抑制している。 | |
| | コピーサービス業（従業員） | 取引先の様子 | ・ここ何年かと比べると、業績が上向いているのは事実だが、客先が慎重になっていることも否めない。また、社屋が古くなってきている客先が多く、今後の社屋新築に向けて財源を蓄えている客先も多い。 | |
| | その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当） | 受注量や販売量の動き | ・引き合いは増えつつあるものの、いまだに受注につながっている案件がない。 | |
| | その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長） | 取引先の様子 | ・顧客の設備投資意欲は依然として低いままであり、改善の兆しがみられない。燃料価格の安値安定が唯一の救いである。 | |
| | その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当） | 受注量や販売量の動き | ・売上の前年比が若干ではあるが上向いてきた。 | |
| やや悪くなっている | 食料品製造業（従業員） | 受注量や販売量の動き | ・販売額が落ちてきている。前年との比較でも1割ほど減少している。 | |
| | 家具製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・年初来の株安や円高による影響が富裕層の財布のひもを締めている。 | |
| | 輸送業（支店長） | 取引先の様子 | ・現場向けの輸送量が落ちる典型的な冬期間の物流になっており、荷主との商談においても春以降の話題しか出てこない。ただ、今が景気の底とみている。 | |
| | 通信業（営業担当） | 受注価格や販売価格の動き | ・ここ最近では少なかった顧客からの価格交渉が、再度厳しさを増してきている。価格に対する敏感な反応が増えてきていることから、景況感の節目が感じられる。 | |
| | 司法書士 | 取引先の様子 | ・不動産取引や建物の新規建築が低迷している。今後、マイナス金利政策により住宅ローン金利が下がる可能性はあるが、平均年収が低い地方都市においてはローン審査のハードルも依然として高いままである。 | |
| | 司法書士 | 取引先の様子 | ・冬期間のため、不動産取引は減少している。また、建築資材価格の上昇、熟練工不足による賃金上昇などの要因で建築費が高くなっているため、新規マンションや一般住宅の建築が少なくなっている。 | |
| | その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・年度末に向けて新規案件の話が出てこない。 | |
| 悪くなっている | — | — | — | |
| 雇用関連 | 良くなっている | — | — | |
| (北海道) | やや良くなっている | 職業安定所（職員） | 求人数の動き | ・新規求人数が前年と比べて0.7%減少したものの、月間有効求人数は前年から3.5%増加し、6か月連続で前年を上回った。 |
| | 変わらない | 人材派遣会社（社員） | 求職者数の動き | ・3か月前と比べて登録者数が横ばいで推移しているが、求職者が人材会社を経由せずに、企業からの直接求人に応募して採用が決まっているためとみられる。有効求人倍率が示すように市場に求人が多数あることの証左であるといえる。 |
| | | 求人情報誌制作会社（編集者） | 雇用形態の様子 | ・若年層の人材確保が厳しくなりつつあり、福利厚生などの多少のリスクを背負ってでも正社員募集にシフトしている。 |
| | | 求人情報誌制作会社（編集者） | 採用者数の動き | ・正社員の求人が堅調に推移している。アルバイト・パートの採用が厳しいため、正社員化を進める企業が増えているためとみられる。一方、景気の先行き不安などで求人広告の出し控えも多少みられる。 |
| | | 職業安定所（職員） | 採用者数の動き | ・求人倍率は上昇しているが、就職件数は伸びていない。 |

| | | | |
|-----------|------------------|---------|--|
| | 職業安定所（職員） | 求人数の動き | ・月間有効求人数が72か月連続で前年を上回り、月間有効求職者数が51か月連続で前年を下回っているものの、ここ3か月の新規求人数の動きをみると、前年からの増加率が11月は7.0%、12月が3.5%、1月は2.1%と増加幅が縮小傾向となってきている。 |
| | 職業安定所（職員） | 求職者数の動き | ・11月から1月までの有効求職者数の累計が前年から5.9%減少している。同様に新規求職者数の累計も前年から3.3%減少している。 |
| | 学校〔大学〕 （就職担当） | 求職者数の動き | ・新卒者向けの求人数は相変わらず高水準で推移しているが、未内定学生の動きが低調となっている。無理に就職先を求めないという最近の学生気質があるのか、採用枠を埋めきれない企業側にとっては痛手となっている。企業側も決して無理な採用は行わないため、3月までは現状維持で推移することになる。 |
| やや悪くなっている | 求人情報誌制作会社（編集者） | 周辺企業の様子 | ・取引先の企業も含めて、景況感が良くなっている雰囲気を感じられない。 |
| | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | 求人数の動き | ・募集広告の売上が前年から1割減った。売上上位業種の順位は前年と同様であるが、派遣が前年から5割近く伸びている一方で、それ以外の業種は軒並み前年を下回った。特に医療、小売、環境衛生が大きく数字を落とした。 |
| 悪くなっている | — | — | — |